



一人一人が 安心して 自分のよさを発揮できる学校

今成小だより



令和6年12月2日発行

1年を振り返ってみましょう

令和6年、2024年の最後の月となりました。あわせて、1年で最も長い2学期終業の日も近づいています。この時期に今年はどんな出来事があって、自分にとってどんな年だったのか振り返っておくのは、未来に向けて意味のあることだと思います。家族で過ごすひとときなど、話題にしてみるのもいいかもしれません。



運動会応援練習に初日から全力で取り組む子どもたち。そのやる気は赤組も白組も本当にお見事でした。

今成小学校にとって、今年は開校51年目という新たな段階に入った年でありました。これまでのところ、各ご家庭のご支援・ご協力を生かし、1年生から卒業を控えた6年生まで、どの学年の子どもたちも本当によく頑張っています。

学習面では、毎日生き生きと学ぶ姿があり、各種の学力調査でも自分の力を発揮できる児童が増えてきました。生活面では、友達や他学年をいたわる心優しい行動が見られます。また、体力面では、体育を専門分野とする教師の指導のもと喜んで運動に取り組む児童が増えています。さらに学校行事などでも、自分の目標を決め、仲間とともに力いっぱい努力しようとする様子が見られました。

では、「心の成長」についてはどうでしょうか。例えば、思い通りにいかない出来事があったとします。一時的な落胆は自然なこと。しかし、その後気分転換し、目標を新たに次の一步を踏み出す意欲が全体的に感じられるのです。大人にも難しいこの前向きな心持ちが1年間で真っ先に思い浮かぶ子どもたちの成長の姿です。

総じて、今成小の子どもたちが自分のよさを次から次へと表してくれた年でした。そのすばらしい素質と向上心を礎に、毎日をいっそう楽しく心豊かに過ごしてほしい。そして、次の1年も子どもたちが「意欲の芽」をさらに伸ばし、ぐんぐんと成長していってくれることを願っています。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす